

令和三年度  
緊急時マニュアル

静岡県立相良高等学校

## 保護者へ緊急時連絡事項

### 1. 台風等による注意報・警報発令時の対応

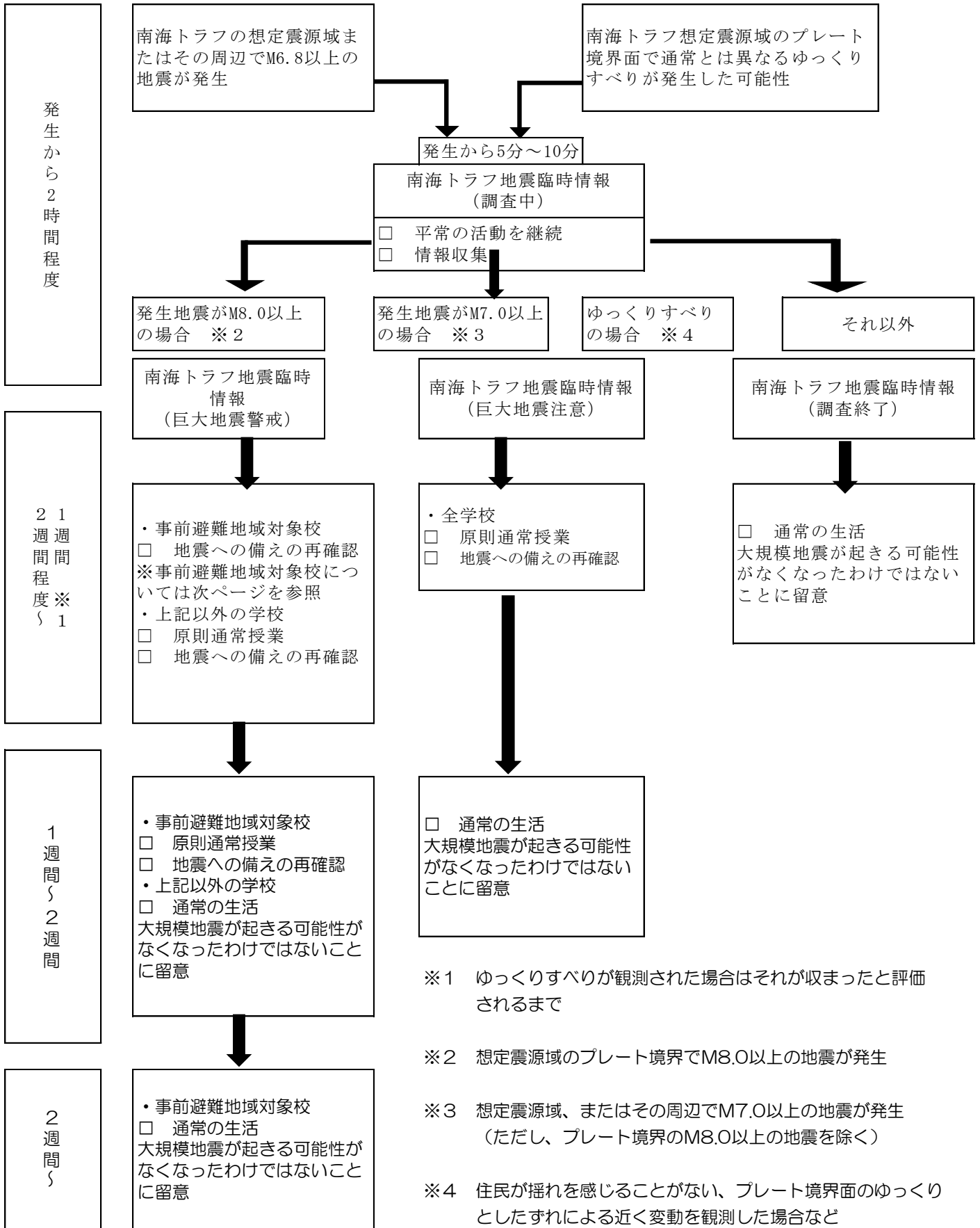
情報		授業	登校前発令	登校後発令
注意報	強風	平常授業	① 今後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登校できることを確認した上で登校する。 ② 安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡し自宅で待機するか状況を見て登校する。	① 気象情報や地域の実情に応じ、生徒の安全面に配慮して下校させることもある。
	大雨			
	洪水			
警報	暴風	休校	① 午前6時の時点で警報が発令されている場合は、午前11時まで自宅待機とする。 ② 午前11時の時点で警報が解除されていない場合は、1日休校とする。 ③ 午前11時の時点で警報が解除されている場合は、午後の授業に間に合うように登校する。 ただし、安全に登下校することが心配される場合は学校に連絡し、自宅で待機するか状況を見て登校する。	① 気象状況や地域の実情を判断し、安全を確認した後、下校させる。 <b>【確認事項】</b> ・交通、道路情報等の確認 ・保護者引取りの有無 ・集団下校者の確認 ・自転車通学生の安全指導 ・下校途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ② 安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡を取り、適切な対処をする。
	大雨	平常授業	① 気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全を確認した上で注意して登校する。 ② 安全に登下校することが心配される場合は、学校に連絡し、自宅で待機するか状況を見て登校する。	① 気象情報や地域の実情に応じ、生徒の安全を配慮して下校させることもある。
	洪水			
備考		※1 気象情報はテレビ、ラジオ、NTT177番等で確認してください。また、学校ホームページで確認してください。 ※2 中部南・遠州南以外に居住する生徒は居住地での警報発令に注意してください。 ※3 「大雨警報」及び「洪水警報」が重複して発令されたときは、 ・登下校の危険が低い場合、平常通りです。 ・特別の自然災害が予想される場合には、状況に応じた対応をします。		

◆台風が近づくことが予想される場合は、教室の戸締りを確認するとともに、グラウンドなど校外の備品・設備を固定するなどして、近隣への被害が発生しないように十分注意すること。

◆注意報—警報レベル2相当      警報—警戒レベル3相当

2. 南海トラフ地震臨時情報対応

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の対応



■地震災害における教育活動の実施基準

(1) 地震災害発生時の教育活動実施基準

状況		基準	
地震	南海トラフ地震臨時情報	調査中	<input type="checkbox"/> 原則通常授業
		巨大地震警戒	<b>【事前避難地域対象校】</b> <input type="checkbox"/> 直ちに教育活動中止 (1週間程度の休校)
		巨大地震注意	<input type="checkbox"/> 原則通常授業
		調査終了	<input type="checkbox"/> 原則通常授業
	学校が所在する地域で震度5弱以上の地震が発生したとき	<input type="checkbox"/> 直ちに教育活動を中止	
学校が所在する地域で震度4以下の地震が発生したとき	<input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて授業中止		

■地震発生時の対応

発生直後の安全確保	<input type="checkbox"/> 生徒に対し明確な指示を出す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる </div>		
	教室	頭を守る	机の下に隠れる（机の脚を持つ） 外に飛び出さない
	廊下・階段		ガラスに注意して中央で伏せる
	体育館		落下物に注意して中央で伏せる
	グラウンド		校舎から離れて中央で伏せる
<input type="checkbox"/> 火気の消火（電源を切り・ガスの元栓を閉める） <input type="checkbox"/> 出入口を確保する。			
避難誘導	<input type="checkbox"/> 生徒の状況を把握する。 <input type="checkbox"/> 生徒に対し明確な指示を出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「押さない・走らない」（※）・しゃべらない・戻らない」  余計な荷物を持たず、上履きのまま行動する。  ※津波避難の場合は走ることもある。 </div>		
	<input type="checkbox"/> 名簿、引き渡しカード、ホイッスル等を携行し、生徒を安全な場所に誘導する。		
	<input type="checkbox"/> 普通教室以外の場所にいる生徒の所在に配慮する。		
	<input type="checkbox"/> 校舎5階に避難（隣接クラスが連携して避難する）		
	<input type="checkbox"/> 生徒の不安の緩和に努める。		
	<input type="checkbox"/> 避難の際に支援を要する者への対応に配慮する。		
	<input type="checkbox"/> 校内にいる人員の状況を把握する（点呼・欠席者・負傷者等） <input type="checkbox"/> 2次災害等の危険が予想された場合は直ちに安全な場所に避難する。		



避難完了後は、災害対策本部を設置し、各班の対応行動を開始する。

(2) 登下校時又は校外活動中における生徒への誘導

指導項目	実施者
<input type="checkbox"/> 最寄りの避難所等の安全な場所に避難すること。 <input type="checkbox"/> バス・電車等では運転手・駅員の指示に従うこと。 <input type="checkbox"/> 家庭や学校と連絡を取り、状況を報告し、指示に従うこと。 <input type="checkbox"/> 流言等の不正確な情報に惑わされず行動すること。	<input type="checkbox"/> 防災教育担当者 （情報連絡班）

■南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の対応

(1) 南海トラフ地震臨時情報（調査中） 学校対応

実施項目	実施者
<input type="checkbox"/> 原則授業 <input type="checkbox"/> 応急対策要員による情報収集 <input type="checkbox"/> 校内放送等による連絡	<input type="checkbox"/> 情報連絡班、副本部長 <input type="checkbox"/> 情報連絡班、副本部長

(2) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒） 発表時の学校の対応

実施項目	実施者
<input type="checkbox"/> 授業中止（1週間程度の休校） <input type="checkbox"/> 教育委員会との連絡調整 <input type="checkbox"/> 地震への備えの再確認 （集団下校する場合） <input type="checkbox"/> 集団下校班の編成 <input type="checkbox"/> 集団下校路の確認 <input type="checkbox"/> 保護者への休校及び集団下校の連絡 （引き渡しをする場合） <input type="checkbox"/> 保護者への休校及び引き渡し場所の連絡 <input type="checkbox"/> 保護者引き渡し時の身元確認 <input type="checkbox"/> 保護者引き渡し後状況把握	<input type="checkbox"/> 本部長 <input type="checkbox"/> 副本部長 <input type="checkbox"/> 全職員  <input type="checkbox"/> 避難誘導班  <input type="checkbox"/> 情報連絡班、避難誘導班  <input type="checkbox"/> 避難誘導班、情報連絡班 <input type="checkbox"/> 避難誘導班、HR担任 <input type="checkbox"/> 避難誘導班、副本部長

(3) 地震への備え再確認事項

日頃の備え	再確認事項	確認方法または確認者
地震災害への対応	<input type="checkbox"/> 参集基準・教育活動実施基準 <input type="checkbox"/> 各班の人員・役割 <input type="checkbox"/> 緊急連絡先 <input type="checkbox"/> 安否確認方法 <input type="checkbox"/> 引き渡し方法 <input type="checkbox"/> 保護者への連絡（内容・方法・タイミング）	<input type="checkbox"/> マニュアル等で教職員の共通理解
持出品や備蓄品、機材の確認	<input type="checkbox"/> 頭部を保護するもの <input type="checkbox"/> 避難行動に役立つもの <input type="checkbox"/> 生活に役立つもの <input type="checkbox"/> 救護に役立つもの	<input type="checkbox"/> 救護班・搬出班・避難所支援班による安全確認
生徒の安全	<input type="checkbox"/> 避難経路・避難場所 <input type="checkbox"/> 登下校の安全確認 <input type="checkbox"/> 照明器具窓ガラスなどの日構造部材 <input type="checkbox"/> 収納棚などの転倒防止対策	<input type="checkbox"/> 各班で確認

(4) 「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）発表の対応

実施項目	実施者
<input type="checkbox"/> 保護者への学校対応の連絡 （大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意）	<input type="checkbox"/> 災害対策本部

## ■津波対策

### (1) 津波警報・注意報発表時の教育活動実施基準

注意報・警報	教育活動実施基準
津波注意報	<在校時> <input type="checkbox"/> 平常授業 <input type="checkbox"/> 沿岸部の活動中止
津波警報	<在校時> <input type="checkbox"/> 教育活動を中止
大津波警報	<学校管理課下> <input type="checkbox"/> 避難または自宅待機 <input type="checkbox"/> 津波警報が解除され、登下校の安全が確保された時点で登校

### (2) 津波警報・注意報発表時の学校の対応

注意報・警報	実施項目	実施者
津波注意報	<input type="checkbox"/> 教育活動継続 (沿岸部の活動は中止)	<input type="checkbox"/> 情報連絡班
津波警報	<input type="checkbox"/> 上層部(5階)への避難指示	<input type="checkbox"/> 全職員
大津波警報	<input type="checkbox"/> 生徒・教職員の安否確認 <input type="checkbox"/> 津波に関する情報(テレビ・ラジオ等) <input type="checkbox"/> 学校周辺状況の目視 <input type="checkbox"/> 関係機関への連絡調整 <input type="checkbox"/> 学校内(通学路)の状況把握 <input type="checkbox"/> 近隣学校との情報交換 <input type="checkbox"/> 保護者への連絡 <input type="checkbox"/> 学校が避難場所(津波避難ビル等)に指定されている場合、避難者の誘導等	<input type="checkbox"/> 本部長、副本部長 情報連絡班 <input type="checkbox"/> 全職員 <input type="checkbox"/> 本部長、副本部長 <input type="checkbox"/> 情報連絡班、避難所支援班 <input type="checkbox"/> 情報連絡班、副本部長 <input type="checkbox"/> 情報連絡班、HR担任 <input type="checkbox"/> 避難誘導班、搬出班

## ■津波避難における留意事項

### (1) 津波避難における留意事項

避難開始 <b>【ただちに】</b>	<input type="checkbox"/> 教職員は的確な判断をし、ただちに校舎5階へ避難を指示する。 <input type="checkbox"/> 教職員不在時は生徒だけでも避難を開始する(訓練が必要)。 <input type="checkbox"/> 沿岸部での活動中に地震が発生した場合は、情報を待たずに避難を開始する。 (地震だ、津波だ、すぐ避難!)
避難中 <b>【続ける】</b> <b>【あきらめない】</b>	<input type="checkbox"/> 想定を超える大津波発生の可能性を考慮し、より高く安全な場所への避難を継続する。 <input type="checkbox"/> 建物の倒壊や土砂災害等により避難経路が通行不能となった場合、迂回路等を使用し避難行動を継続する。
避難後 <b>【戻らない】</b>	<input type="checkbox"/> 津波は繰り返し襲来するため、警報等が解除され安全が確認されるまで沿岸部には近づかない。 <input type="checkbox"/> 生徒・教職員の安否確認を行い、性格な情報収集に努める。 <input type="checkbox"/> 生徒の心身の状態を把握する。

(2) 津波避難後の引き渡し (帰宅)

判断者 (本部長)、代理 (副本部長)	避難状態の解除を誰が行うのか、判断者の代理は誰か。
判断基準	<input type="checkbox"/> 大津波・津波警報は解除されているか。 <input type="checkbox"/> 保護者等との連絡手段の確保できているか。 <input type="checkbox"/> 学校周辺の浸水状況の確認。 <input type="checkbox"/> 利用できる交通機関はあるか。 <input type="checkbox"/> 保護者の自家用車での来校は可能か。 <input type="checkbox"/> 集団で帰宅させる場合、安全な下校路が確保できるか。 <b>※生徒及び引渡しする保護者の安全が確保されるまでは、引き渡しまたは、下校は実施しない。</b>
引渡し (帰宅)	<input type="checkbox"/> 集団で帰宅させる場合、移動中の避難先について生徒に調べさせる。 <input type="checkbox"/> 津波浸水域を迂回したルートを考える。

3. 南海トラフ地震臨時情報

(1) 場面に応じた生徒の避難誘導対応

	生徒の動き	教職員の動き
(1) 登下校時に発令	<p><b>調査を開始した場合</b></p> <p>① 防災無線や広報車などの放送を聞き、それに従う。 ② 原則として帰宅する。</p> <p><b>相対的に高まった場合</b></p> <p>① 防災無線や広報車の放送を聞き、指示に従う。 ② 自宅が近くの場合には帰宅する。 ③ 学校に近い場合には、学校に行き、保護者が迎えに来るまで学校で待機する。 ※ 自宅と学校の間地点の場合、最寄りの避難所に避難する。</p>	<p>① 登校してきた生徒を、北館5階の指定避難教室にHRごと (部活動の場合は部ごと) に避難させる。 ② 生徒の氏名等を確認し、副本部長へ報告する。 ③ 情報連絡班は、学校の対応及び保護者の迎えについて保護者宛てに連絡する。 ※ 連絡方法…メール配信 (メール配信が不可能な場合には、防災無線、インターネット、災害用伝言ダイヤル「171」等を活用する) ④ 保護者が迎えに来たら、HR担任 (部活動の場合は顧問) は「引き渡しカード」を受け取り、安全を確認して生徒昇降口前にて生徒を引き渡す。(「引き渡しカード」を持参しなかった保護者にはその場でカードに記入してもらう)</p>
(2) 授業中に発令	<p>① 教職員の指示で火を消し、元栓を締める。 ② 教室の出入口を開け、窓を閉める。 ③ 北館5階の待機指定教室にHRごと (部活動の場合は部ごと) に集合する。</p>	<p>《授業中》</p> <p>① 授業担当者は火を消し、ガスの元栓を締め、HR担任に引き継ぐまで生徒を掌握する。 ② 空き時間の教職員は、職員室に集合する。 ③ HR担任は教室に行き、生徒を掌握し、副本部長の指示を待つ。</p> <p>《休み時間》</p> <p>① HR担任は教室に行き、生徒を掌握し、副本部長の指示を待つ。</p>



	<p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>調査を開始した場合</b></p> <p>①HR 担任（部活動の場合は部活動顧問）の指示に従い、原則として、下校する。</p> <p><b>相対的に高まった場合</b></p> <p>①HR 担任（部活動の場合は部活動顧問）の指示に従い、保護者が迎えに来るまで学校で待機する。</p>	<p>②HR 担任以外の教職員は、職員室に集合する。</p> <p><b>《始業前・放課後・部活動中》</b></p> <p>①教職員は職員室に集合する。</p> <p>②学校に残っている生徒に校内放送を使い、北館5階の指定避難教室にHR ごと（部活動の場合は部ごと）に集合させる。</p> <p><b>調査を開始した場合</b></p> <p>①HR 担任（部活動顧問）は、生徒の氏名等を確認し、副本部長へ報告する。</p> <p>②情報連絡班は、学校の対応について保護者宛てに連絡する。</p> <p>※連絡方法…メール配信 (メール配信が不可能な場合には、防災無線、インターネット、災害用伝言ダイヤル「171」等を活用する)</p> <p>③HR 担任（部活動顧問）は、副本部長の指示に従い、原則として、下校させる。</p> <p><b>相対的に高まった場合</b></p> <p>①HR 担任（部活動顧問）は、生徒の氏名等を確認し、副本部長へ報告する。</p> <p>②情報連絡班は、学校の対応及び保護者の迎え等について保護者宛てに連絡する。</p> <p>※連絡方法…メール配信 (メール配信が不可能な場合には、防災無線、インターネット、災害用伝言ダイヤル「171」等を活用する)</p> <p>③保護者が迎えに来たら、HR 担任（部活動の場合は顧問）は「引き渡しカード」を受け取り、生徒昇降口で生徒を引き渡す。（「引き渡しカード」を持参しなかった保護者にはその場で記入してもらう）</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 学 校 外 活 動 中 に 発 令	<b>調査を開始した場合</b> ①防災無線や広報車などの放送を聞き、指示に従う。 ②原則として、帰宅する。	①家に近い時は帰宅し、学校に近い時は学校に、どちらでもない時は最寄りの避難所に避難する。 ※周囲の状況を見て、もっとも安全であると判断できる方策を講ずる。 ②引率者は生徒の氏名等を確認し、学校と連絡を取り合っ て、本人の所在等を副本部長へ報告する。 ③保護者（家庭）へは、学校から状況等の報告をするとともに必要に応じて、保護者の迎えを依頼する。
	<b>相対的に高まった場合</b> ①防災無線や広報車などの放送を聞き、指示に従う。 ②自宅が近くの場合には、原則として、帰宅する。 ③学校に近い場合には、学校に行き、保護者が迎えに来るまで学校で待機する。	

(2) 停電発生時における教育活動の実施基準

状況		基準
停電	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号機の消灯など、通学時の安全が確保できない</li> <li>・ トイレ等の生活用水が確保できない</li> <li>・ 十分な照明が確保できない等、授業実施に支障がある</li> </ul>	原則として休校

■地震時の対応（学校からの連絡）

- 1 情報伝達の可能な連絡網の作成又はメール配信等の構築を図る。
- 2 生徒の避難状況及び迎えの依頼について保護者へ連絡する。  
 ※連絡方法…メール配信（メール配信が不可能な場合には、防災無線、インターネット、災害用伝言ダイヤル「171」等を活用する）
- 3 避難している生徒に必要な情報を提供する（校舎内外においては連絡ボードや張り紙等を利用する）。
- 4 関係機関（消防、警察、交通機関）からの情報収集を行う。
- 5 携帯電話や防災無線を利用し、PTA地区防災委員と連絡を取る。
- 6 家庭からの連絡対応を行う。

#### 4. 全国瞬時警報システム（Jアラート）警報時

国民保護：万が一、外敵から日本国に対する武力攻撃があったときに、国民の生命、身体及び財産を保護する。

##### 1 事前の対応

- ・児童生徒に対し、Jアラート警報時の行動を指導する。
- ・児童生徒の在校時にJアラートにより緊急情報が発信された場合は、当該授業等を中止する。

##### 2 事後の対応

Jアラートによる緊急情報（ミサイル発射）の発信時	
始業前	<input type="checkbox"/> 児童生徒は、避難や自宅待機とする <input type="checkbox"/> 休校、短縮授業の措置を取る場合はその旨連絡する <input type="checkbox"/> 避難行動を取る <ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤前の場合は、自宅待機する</li> <li>・出勤途上の場合は、近くの建物や地下に避難するか、近くに建物等がない場合は地面に伏せ頭部等を守る</li> <li>・出勤後の場合は、校内にいる児童生徒へ避難を指示するとともに、自らも避難する</li> </ul> <input type="checkbox"/> テレビやラジオ、携帯電話等で情報を収集する
在校中	<input type="checkbox"/> 授業を中止し、児童生徒に避難行動を取らせる <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外にいる場合は、校舎等の建物内に児童生徒を避難させる</li> <li>・屋内にいる場合は、室内を密閉し、できる限り窓から離れる</li> </ul> <input type="checkbox"/> テレビやラジオ、携帯電話等で情報を収集する
放課後	<input type="checkbox"/> 校内に児童生徒がいる場合は、屋内に避難させる <input type="checkbox"/> 部活動等を行っている場合は、中止する <input type="checkbox"/> テレビやラジオ、携帯電話等で情報を収集する
Jアラートによる緊急情報（ミサイル通過＝影響がない場合）の発信時	
始業前	<input type="checkbox"/> 児童生徒に対し、避難や自宅待機の解除を通知する <ul style="list-style-type: none"> <li>・始業時間を連絡する</li> </ul> <input type="checkbox"/> 避難行動をやめ、出勤する <input type="checkbox"/> 引き続き、情報を収集する
在校中	<input type="checkbox"/> 避難行動をやめるよう児童生徒に指示し、授業を再開する <input type="checkbox"/> 引き続き、情報を収集する
放課後	<input type="checkbox"/> 避難行動をやめるよう児童生徒に指示する <input type="checkbox"/> 部活動等の再開の判断をし、児童生徒に伝達する <input type="checkbox"/> 引き続き、情報を収集する
Jアラートによる緊急情報（ミサイル落下＝影響がある場合）の発信時	
全時間帯	<input type="checkbox"/> 児童生徒の安全を最優先し、避難指示をするとともに自らも避難行動を取る <input type="checkbox"/> 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチ等で覆い、密閉性の高い屋内または風上へ避難させる <input type="checkbox"/> 引き続き、情報を収集する <input type="checkbox"/> 自治体から指示があった場合は、指示に従って行動する

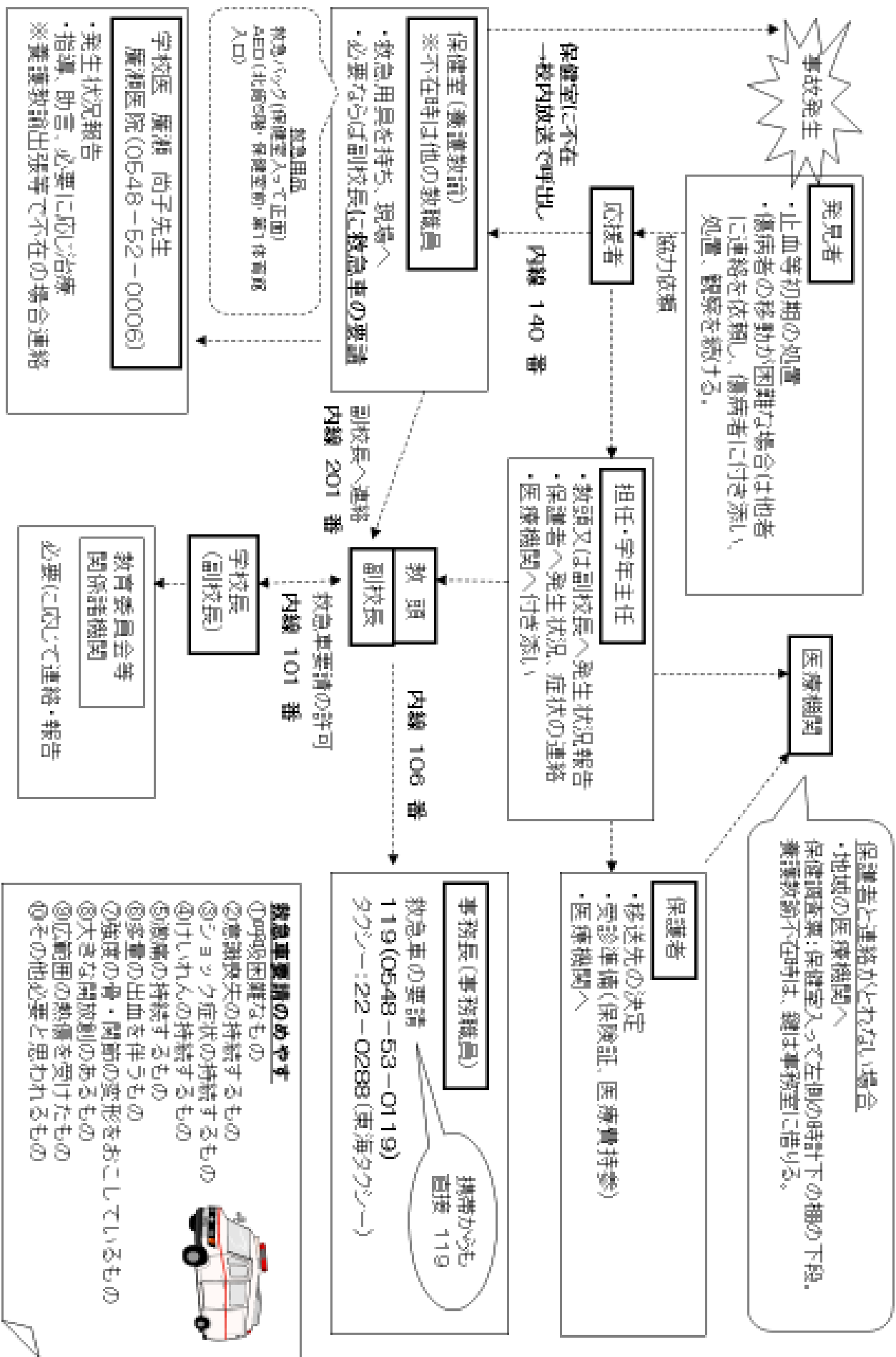
緊急時引き渡しカード

緊急時引き渡しカード					
(生徒名)		(兄弟姉妹)			
HR		HR			
HR		HR			
番号	引き取り者氏名	連絡先(電話・住所)		生徒との関係	チェック欄
1	保護者	電話〔 - - - - 〕	携帯電話〔 - - - - 〕	住所〔 - - - - 〕	
2		電話〔 - - - - 〕	携帯電話〔 - - - - 〕	住所〔 - - - - 〕	
3		電話〔 - - - - 〕	携帯電話〔 - - - - 〕	住所〔 - - - - 〕	

太枠内をご記入ください。

静岡県立相良高等学校

#### 4. 緊急時の救急体制



# 応急手当の基本

## (1)一般傷病者に対する手当の順序

